

**残りの者**  
**シャーアル**

石巻祈りの家NEWS LETTER 「シャーアル」(93号)  
986-0801 宮城県石巻市水明北3丁目13番28号  
TEL /0225-96-1497 Email/ hjm-ja2@yg8.so-net.ne.jp  
振替口座 02290-6-126186 口座名称 阿部 一  
●代表/阿部 一 ●副代表/菊池せい子



今やあなたがたは、あらゆる恵みと祝福を手にしたのです。(コリント1/7)

## 信仰: 新しく生まれる特権

- **クリスマスおめでとうございます。** みなさんにとって何回目のクリスマスでしょうか? 毎年、この日を迎え、この1年の歩みの日々において、神より賜った憐れみと恵みを数え、感謝に満たされた者とおられると思います。
- 何と多くの人が、「新しく生まれ変わりたい」と思っているでしょうか。その思いの多くは、自分を取り巻いている環境全てが自分の欲しているものと願っています。
- しかし、現実はその夢とは正反対で、努力しても報いられず、自分の思いのままにならない家庭や職場の人間関係、さらに人生の先が見えない不安に悩まされています。
- ペテロは、信仰のゆえに迫害され、現在のトルコの各地に離散し、困窮のただ中であつた信徒(クリスチャン)たちを励ますために手紙を書きました。
- その中で「あなた方は、新しく生まれる特権(リビングバイブル:1 ペテロ1/3)が与えられた者だ」と書いています。特権とは、ある身分、資格のある者だけが持ち得る権利です。
- では、私たちクリスチャンはどのような特権が与えられているのでしょうか。「あなた方は神の家族の一員で、お金では買えない永遠のいのちの希望が約束されており、信仰によって神の御力によって守られている者だ。」とペテロは言います。
- その特権は、神の計り知れない憐れみによって私たち既にが神の子とされており、さらにキリストが死者から復活した事実によって保証されていると述べ、励ましています。
- この「生まれ変わり」は、私たちの精進や努力では得られるものではなく、神の側から値しない私たちに差し出された憐れみと恵みを、感謝を持って受け入れる者にだけ与えられるものです。
- 日本人は、ここで躓きます。何もしないで信じるだけで新しくされることなどはあり得ないと。「この世が自分の知恵によって神を知ることが出来ないのは神の知恵であり、むしろ宣教のことばの愚かさを通して信じる者を救おうと定められた」(コリント1/21)と聖書に記されています。
- 自分の愚かさを認め、神の憐れみを信じた多くの人々たちを、その身分や貧富の差なく「新しく生まれた者」とされました。そして、現実のこの世で、その多くの人は神と人を愛し、他人の幸せのために自らを犠牲する者となりました。
- マザー・テレサやリンカーン、シュバイツァー、賀川豊彦など大きな働きをして名を知られた人だけでなく、多くの無名の新しくされた人たちが神と人に仕えています。
- この新しくされる道備えをするために、キリストはこの世に来てくださったのです。クリスマスがそのことに感謝し、新しくされたことを喜ぶ日となりますように。

### 先月の多くの恵みから

- ① 11/8の礼拝は、大震災後に南三陸で「良き業・宣証」の理念で、支援活動を続けておられる聖協団西仙台教会牧師中澤竜生師にメッセージのご奉仕をして頂きました。説教題「大海に投じる一石」の通り、低迷する日本の宣教活動に聖書から一石を投じる新しいパラダイムでの挑戦に大きな恵みを受けました。
- ② フロリダ在住のS姉妹が、高齢のお母さんの介護に来石している期間私たちの群で信仰生活を送られていました。その信仰をもったお母さんが、11/3に97歳で召天されました。

- た。姉妹とご兄弟の意向で「家族葬」で葬儀を行い、阿部に執り行って欲しいとの強い要請がありました。祈りを持って準備し、納棺から火葬・葬儀・納骨までを行わせて頂きました。地域の必要に神が用いて下さったことに感謝しました。
- ③ 皆さんが献げて下さった仮設限定灯油献金をもって、11/19に、仮設の申請者にこの冬第1回目の灯油支援を開始しました。昨年までと同様に月2回の支援ができるようにと祈っています。続けてご支援下さい。
- ④ 11/18に、今年の南三陸に続き、来年3月11日に石巻で実施する「宮城南三陸3.11追悼記念会」の第4回目の実行委員会を私たちの教会で行うことが出来ました。十分な準備して臨めるようにお祈り下さい。
- ⑤ 11/14に、坂戸市からブラジル人教会の時田師ご夫妻と姉妹が訪問下さいました。先生方は2ヶ月間ブラジルを帰国されるとのことです。旅とご奉仕が祝されますように祈ります。
- ⑥ 11/16にCrash Japanの永井敏夫師と今年結婚されたお嬢さんのChamiとご主人のDavidが訪問下さり、励ましと祈りをして頂きました。お二人の女川でのお働きが祝されますように。
- ⑧ 12/3に「イザヤ58ネット」の中川信嗣師グループが継続して仮設訪問をして下さることになっております。
- ⑨ 11/5に、DRCnetの河師、安師のご協力で十字架の照明の修理をして頂き、再び地域に明るい主の光を届けています。

### ■ 今月、次の課題を祈っていただければ幸いです。


- ① 地域から求道者が起こされるように。群れの証しのために。
- ② 5度目の寒い冬を仮設で迎える被災者のために。灯油支援購入資金が満たされるように。仮設を出られる家族のために。
- ③ 石巻 Ministries Networkでの各教会間の協力のために。

群の定期集会	
・礼拝 (毎週日曜日)	10:00-11:30
・祈り会 (毎週水曜日)	10:00-11:30
・聖書を読む会(第1火曜日)	10:30-12:00
・ほっと・Time (第3火曜日)	10:30-12:00
・コーラス「花」(第2,4木曜日)	13:30-15:00
・キルトを縫う会 (第2,4月曜日)	10:00-12:00
・学習支援 (地域の子どもの要望に応じて応援/木・土)	

### 信仰を詠う

## 12月 <sup>そそ</sup>注がれる恵み

おぼつかぬ仕草で 草抜く娘を見つる  
祖父母撫でゆく北上の川。  
サポステの青年の息吹きに包まれて  
ラベンダー容れる 小袋つくる。  
この時を奇跡の恵みと思ゆつつ  
ツリーに十字のリボンをつける



阿部 八重子

引きこもる家族を抱え10年、更に震災後母親を亡くした孫娘のひきこもりを助けて下さっている日本社会福祉協会さんが、サポートステーション、NOTEへと携がりをして下さり農場の草取り、収穫作業、ポリ袋をつくる作業と一歩づつ動き始めた孫娘、応援支援して下さい下さるすべての方々に私の胸は感謝の思いでふくみっぱなしです。

● <今冬の灯油支援開始>復興住宅建設の遅れで5度目の冬を仮設住宅de生活をする被災者に皆さんの愛の灯油が届いています。感謝!